

(仮称)備前市総合計画(案)に対する意見募集の公表について

(仮称)備前市総合計画(案)に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と市の考え方は下記のとおりです。

ご意見をお寄せいただきましてありがとうございました。

意見募集期間 平成25年1月4日(金)~2月4日(月)

意見募集結果 23件(13名)

	意見等の要旨	市の考え方
1	P.8 第1章 計画策定の趣旨 計画の構成と期間、総合計画と個別分野の関係、総合計画の計画期間などの図式を見ると、実施計画(2年間)見直し(2年間)とし、前期基本計画、後期基本計画8年間で基本構想を推進するようになっており、印にあるような、PDCAサイクルによるマネジメントシステムが取り入れられていない。	総合計画の推進にあたっては、本計画とは別に単年度ごとで施政方針を公表し、より具体的な計画(Plan)を明らかにします。その後、事業実施(Do)、施策評価(Check)、翌年度予算反映(Action)、そして再び施政方針(Plan)という形でPDCAサイクルを回すこととなります。また、基本計画の目標設定で示された指標は、施策評価の指標と連動させ、毎年度、達成状況が確認できるしくみとなっており、この蓄積により計画の見直しを行っていきます。
2	P.17 まちづくりの基本方針 「将来を担う人材として成長するための基礎をつくるまち」について、接続詞の使い方がおかしい。言葉の内容が分かりづらい。	「将来を担う人材が育つまち」に変更します。
3	P.24 市の財政状況 義務的経費がなぜここ2~3年で急激に増えたのか市民に説明する義務がある。さらに課題解決するために、対策・方向性を明確にすべきである。	義務的経費の増加に係る説明については、毎年公表している「備前市の財政状況」で述べます。また、課題解決にあたっての対策・方向性については、「第2編 基本構想 第1章 まちづくりの基本方針」で述べています。
4	P.25 第3編 基本計画 現状と課題において、世間一般で言われる総論的な表現が多い。将来像をうたっているが、事業構成では、目先のものばかりであり、将来の展望を描ける事業の創出を望む。これを推進すれば、まちづくりの理念や市の将来像に掲げている「備前らしさ」「教育のまち」になる分析がなされていない。したがって、「目標の設定」「目標達成のための取り組み」の内容が貧弱で	基本計画については、施策の大まかな方向性を示すものであり、具体的な内容については、それぞれの下位計画などで示すこととなりますが、市長の公約や考えを取り入れることで、具体性のある内容に若干の修正を加えます。 「目標」「目標達成のための取り組み」については、「目標が達成した姿(10年後の姿)」を目指すものであり、施策によっては直接将来像に結び付かないものもあります。しかし、どの

	ある。	施策においても「備前らしさの発揮・子どもたちとの接点」を記載する欄を設け、全ての施策を通じて将来像の達成や理念の遂行を意識するしくみづくりになっています。
5	P.28 施策1-2【就学前の教育、保育等の充実】 吉永幼稚園について、運営体制は自慢できるが、安全面への配慮が足りない。市と地区住民との話し合いが必要。	耐震診断結果及び施設の老朽状況を踏まえ、現在、施設の改善に向けて協議を進めております。今後、事業を進める上で、地区住民とも協議しながら進めてまいりたいと思います。
6	P.28 施策1-2【就学前の教育、保育等の充実】 吉永幼稚園のIS値が0.13であるのかかわらず一向に手がつけられていない。こども園計画白紙により子ども達の命をないがしろにするのはあってはならないことであり、一刻も早く安全な建物にしていただきたい。地震もなく安全なまちだという意識をなくさないといけないというのが東日本大震災で全国民が学んだことだと思う。	耐震診断結果及び施設の老朽状況を踏まえ、現在、施設の改善に向けて協議を進めております。今後、事業を進める上で、地区住民とも協議しながら進めてまいりたいと思います。
7	P.30 施策1-3【小・中学校教育の充実】 日生東小学校の体育館は、小学校の教育施設として規模的にも機能的にも基準を満たしていない等の問題が従来からPTAでも話題となっている。この度の改修計画にあたっては、施設規模に応じた用地確保等、十分な配慮の上、実施することを願います。	今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。
8	P.44 施策3-1【歴史文化の活用と伝統文化の継承】 地域文化資源の定義について、以下の視点が欠けているのではないかと。 1. 正宗白鳥・柴田錬三郎・藤原審爾・里村欣三等の文学者 2. 熊山遺跡及び鶴山丸山古墳 また、これらの価値について再認識をし、上級機関への働きかけるとともに、適切な保護・保存や生涯学習・歴史観光などの目標設定と取り組みを期待する。	地域文化資源として、旧閑谷学校、備前焼等を記載しておりますが、これは代表的なものの例示であり、定義ではありません。 ご指摘の文学者、丸山古墳等についても地域文化資源として、保存、活用が必要と考えますので、現在策定中の備前市歴史文化基本構想の中で検討してまいります。
9	P.44 施策3-1【歴史文化の活用と伝統文化の継承】 備前焼遺跡や旧閑谷学校の文化財と並び、全国	ご指摘の丸山古墳については地域文化資源として、保存、活用が必要と考えますので、現在策定中の「備前市歴史文化基本構想」の中で検

	<p>的にも貴重である熊山遺跡と鶴山丸山遺跡の関連の研究及び本格的な発掘調査の必要性を提言する。</p>	<p>討してまいります。</p> <p>ただし、国指定史跡の発掘調査等に関しては、伊部南大窯の例を持ち出すまでもなく、文化庁から承認を受けた明確な事業計画と膨大な予算と長い事業期間が必要となりますので、将来的な構想として視野に入れたいと考えます。</p>
10	<p>P.76 施策7-2【里海づくりを柱とした水産業の振興】</p> <p>海鵜の被害により湾内にいた小魚が激減している。農林業と同様に有害鳥獣の問題が海においても深刻になっている。目標の設定の中に海鵜の駆除対策を追加検討していただきたい。</p>	<p>今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。</p>
11	<p>P.76 施策7-2【里海づくりを柱とした水産業の振興】</p> <p>河川に堆積している土砂の浚渫を行い、その土砂を日生浜山干拓前から深谷に至る海域と井田村前面の遠浅海域に投棄し、人工干潟を造成してはどうか。漁協とタイアップして潮干狩り場としての整備や海水浴場としての利用が可能となるのではないか。</p>	<p>今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。</p>
12	<p>P.79 施策7-3【商工業、海運業の振興】</p> <p>「商店街の活性化」を「地域の商店等」に改めてはどうか。買い物難民の問題もあり、全市に展開されている生活必需品を供給すべき商工業者を支援するのが妥当だ。三石、吉永地区においては移動販売によって生活を支えられている住民も少なくない。先進地域では「共同売店」といったものが発生し、地域で商店を作る活動も始まっている。支えるべきはそのような地域の持続可能な活動でなければならない。</p>	<p>表現の問題ではありますが、「商店街」を「地域の商店」に改めると、【個】に対する助成と捉えられかねません。地方自治の公平・公正な観点から、この表現を改めることはできないと考えます。</p> <p>また、買い物弱者対策に関する国の補助金などが創設されていますが、事業を持続していくには民間業者のやる気と活力、そして営業力が欠かせません。自治体による支援は、税金が注入され、これを永久に支援することはできません。持続可能で、前向きな民間業者の探求と育成に努めたいと考えます。</p>
13	<p>P.79 施策7-3【商工業、海運業の振興】</p> <p>海運業について、取り組み内容が具体性を欠いている。以下の3点について意見を述べる。</p> <p>1. 船舶を建造・修繕できる造船所の設置</p> <p>船舶の大型化により対応できる造船所が一社しかなく、存続の岐路に立っている。</p>	<p>今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。</p>

	<p>造船所の存廃は一企業の問題ではなく、地域経済への波及効果も計り知れない。市内での存続について、企業誘致の立場から強力な行政指導が必要。</p> <p>2. 船員不足と地元雇用の確保</p> <p>内航船舶は、労働条件が改善されており、また安定した有望職種である。市当局に海運組合とタイアップした船員確保について努力を期待したい。</p> <p>3. 青少年に「海洋国日本」の醸成</p> <p>将来の「海洋国日本」を自認する社会教育、例えば、海洋少年団の育成等、海に親しむ学習の取り組みについて提言する。</p>	
14	<p>P.80 施策7-4【賑わいをもたらす観光の振興】</p> <p>現状の課題認識の視野が狭い。市民意識調査の低い数値に問題意識を持っているように感じられない。観光ボランティアガイド数が増加すれば、「おもてなし」来訪者との交流増の認識は甘い。市外からの来訪者に向けての情報発信は当然必要なことであるが、地元に住んでいる市民自身が、その観光資源やイベントの魅力を再確認し、楽しめ、情報発信していくことができるような事業実施を望む。また、「日生カキ」「備前焼」「閑谷学校」を含めたPR体制を具体的に構築するため、備前市の各課の垣根をなくし、観光行政を構築することを要望する。</p>	<p>観光ボランティアガイドの数については、観光客に対する「おもてなし」をはかる指標として登録者数を用いています。</p> <p>市民への情報発信、また、垣根をなくした観光行政の構築については、今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。</p>
15	<p>P.81 施策7-4【賑わいをもたらす観光の振興】</p> <p>取り組み について、「駐車場や看板」を「受け入れ施設」に改めてはどうか。ここまで具体的な文言にすると、受け入れ体制の充実が駐車場や看板に限定されてしまう。実施計画で考えることではないか。</p>	<p>「駐車場や看板」を「ユニバーサルデザインにも配慮した受入施設」に修正します。</p>
16	<p>P.84 施策8-1【秩序ある土地利用と良好な市街地の形成】</p> <p>日生町寒河地区の寒河駅前の農地は、農業振興地域に指定されており、社会情勢の変化に対応した土地の有効活用が不可能である。ブルーラインの開通、駐車スペース不足、宅地開発への</p>	<p>今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。</p>

	<p>需要増、耕作放棄地の増大、農業後継者の減少等、社会情勢が大きく変化しており、それらに対応できるよう規制緩和を提言する。また、赤穂線の利用促進やイベント時の渋滞緩和に対応するため、寒河駅にパーク＆ライド機能を確保するなど、総合的土地用の視点での取り組みを望む。</p>	
17	<p>P.84 施策 8 - 1【秩序ある土地利用と良好な市街地の形成】</p> <p>架橋後の鹿久居島について、エコ・アイランドと位置づけ、国有地部分の特区申請を目指し、自然エネルギー関係事業や研究機関の誘致等、徹底的な調査研究活動を図ってはどうか。また、国有地部分の活用の方向性を策定し、多方面に情報発信すれば、民有地への民間投資や活力へ呼び水となり得るのではないか。夢のある理想的な土地利用への行政指導を期待したい。</p>	<p>今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。</p>
18	<p>P.88 施策 8 - 3【住宅の供給と安心できる住環境の整備】</p> <p>備前らしさの発揮・子どもたちとの接点に「公営住宅にセラミックや備前焼を」とあるが、公営住宅に取り入れることが全く理解できない。どのような効果が期待できるのか科学的に明示してほしい。温暖化防止や森林整備等の理由から県産材や間伐材の利用とするべきだ。</p>	<p>ご指摘の点は、物理的な効果を期待したものではなく、まちごとのイメージを表現する手法のひとつの例を掲げたものですが、ご提案の県産材や間伐材の活用も良い提案だと考えるので、加筆修正します。</p>
19	<p>P.92 施策 8 - 5【道路環境の整備】</p> <p>備前らしさの発揮・子どもたちとの接点について、「伊部地区」とあるが、「地域ごとに地域のイメージにあった道路整備に努めます」としてはどうか。伊部地区にこだわるのはなぜか。伊里なら閑谷学校、三石なら煉瓦と決めつけてしまうのか。総合計画であればその程度で留めるべきだと考える。</p>	<p>ひとつの例として伊部地区を表現しましたが、特定の地区に限定された表現は不適切ともいえますので、記述を訂正します。</p>
20	<p>P.94 施策 8 - 6【港湾・漁港の整備】</p> <p>取り組み について、寒河港の復元をお願いしたい。寒河港の船溜まりは、昭和年代には台風時に機帆船の避難係留が可能な良好な領域だったが、浜山干拓地を造成の際に船溜まりとし</p>	<p>今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。</p>

	<p>での機能がなくなってしまった。そこで、旧寒河港の船溜まりの部分の浚渫と石谷川との分流場の修復を提案する。浚渫土を港内の一部に集め、矢板工法で犬走りを造るなど、創意工夫次第で経済面からも実現可能ではないか。</p>	
21	<p>P.102 施策 9 - 2【斎場の運営と墓地の整備】 日生地区の墓地について、適地調査を進めていると聞いているが、未だ公表されていない。墓地事情に鑑み、早急な取り組みを希望する。具体的な提案として、日生町寒河東奥に寒河地区遺族会の元所有地を用地とし、最西端に国道 250 号からの取り合い道を新設し、車での参拝が可能なものとしてはどうか。</p>	<p>今後の施策・事業の推進にあたっての参考として承ります。</p>
22	<p>P.104 施策 9 - 3【環境保全対策の推進】 取り組み について、「リサイクルの推進」とあるが、「3R の推進（リデュース、リユース、リサイクル）」としてはどうか。リサイクルではゴミは減らない。全国では 3R（または 4R）が主流である。リサイクルは最終的な解決法ではない。</p>	<p>ご指摘のとおり「ごみ 3R の推進」という表記に修正します。</p>
23	<p>P.113 施策 10 - 3 - 1【市税の適正な賦課と収納率の向上】 目標の設定について、市税収納率の平成 34 年度の目標値 94%を 99%にしてはどうか。民間企業では当たり前のこと。目標は高く掲げてほしい。</p>	<p>ご意見を尊重し、目標値は県下 15 市の中で最上位を旨ざして検討します。</p>